

ごあいさつ



取締役頭取 増田 熙男

皆さまには、平素より東和銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解を一層深めていただくために、本誌を作成いたしました。2005年度の業績を中心に当行の現況と経営に対する考え方などについて、できるだけ詳しく紹介させていただいておりますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、わが国経済は、昨年後半から低迷していた輸出が息を吹き返し、国内需要においても好調な企業業績を背景に設備投資が拡大するとともに、景気回復が雇用・所得環境に波及する好循環が見られるなど、徐々に明るさが増してきました。さらに、本年3月には約5年ぶりに日銀の量的金融緩和政策も解除され、デフレからの脱却が現実味を帯びてまいりました。

こうした中、当行は、時代の変化に機敏に対応し地域金融機関としての役割を十分果たしていけるよう、リテール業務の強化、徹底した経営の効率化を推進し、営業力・収益力の強化に努めてまいりました。

また、昨年度からの2年間を重点強化期間として推進している「金融改革プログラム」に従い、「経営力の強化」に向け、収益管理態勢の整備やコンプライアンス態勢の強化など、様々な経営課題の改善に向け取り組むとともに、事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた諸施策に取り組んでまいりました。

同時に、預金の安全性を高めるべく当行独自の方式によるキャッシュカードのマルチ暗証方式の導入や、当行のATMと同様の扱いで利用できるよう「セブン銀行」とATM利用提携を開始するなど、お客さまの利便性とサービスの向上に努めてまいりました。

今後とも、地域金融機関としての使命である地域社会の発展に貢献する「役に立つ銀行」として、健全経営に心がけ、株主やお取引先の皆さまのご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2006年7月

東和銀行 取締役頭取

増田 熙男